

開講専攻	環境・生命工学専攻（生命工学分野）	前橋工科大学大学院 シラバス		
科目名	特別研究	標準対象年次	選択/必修	科目コード
		1～3年次	必修	55000101
担当教員	大学院後期課程担当教員	単位数	学期	
		6単位	前期/後期	
授業の教育目的・目標	<p>自立した研究者となるために、主体的に研究課題を設定し、研究計画、基礎理論に基づく仮説またはモデルの構築、実証等、課題を解決すること、及びこれらを論文としてまとめ、学会等に積極的に発表するための指導を行う。そして得られた研究成果を統合し、新しい工学への寄与及び社会への貢献を明確にし、博士学位論文として公表するための指導を行う。</p>			
専攻の学習・教育目標との関係	<p>環境・生命工学分野では循環型社会の構築を環境負荷低減の視点から専門性の高い教育研究を行っており、環境デザイン分野、生命工学分野の授業科目の履修により身につけた知識を総動員して新奇的な研究課題に果敢に取り組み、その成果を分野横断型工学研究シンポジウムで発表するとともに国際的な学会での評価を得ようとするものである。</p>			
キーワード	<p>環境負荷の軽減、建築構造、都市デザイン、プロダクトデザイン、マンーマシンインターフェース、ライフ・イノベーション、生命科学</p>			
授業の概要	<p>主・副指導教員との討論を通じて、自立した研究者となるために、研究領域の現状調査、問題点の討論、研究課題の設定、実験・調査・シミュレーションを通じてのデータ取得、データ分析、解析を繰り返し、学術論文の作成に至るまでの研究活動を行う。</p>			
授業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス ・ 研究計画の検討 ・ 当該研究分野に関する現状調査 ・ 研究課題と目標の設定 ・ 実験、調査、シミュレーション ・ データ解析 ・ 英語プレゼンテーション ・ まとめ <p>以上を繰り返し、学位論文の作成を行う</p>			
受講条件・関連科目	<p>それぞれの分野で必要な授業科目「〇〇論AおよびB」を履修していること。</p>			
授業方法	<p>主・副指導教員との一対一での研究指導を基本とする。</p>			
テキスト・参考書	<p>主・副指導教員の指定する文献、テキスト、資料を用いる。</p>			
成績評価	<p>創造的研究活動を総合的に評価する</p>			
履修上の注意	<p>学位論文の作成に向けて、主体的に努力すること。</p>			
オフィスアワー	<p>主・副指導教員にメールにて事前にアポイントをとり来室されたい。</p>			